

令和4年度 第1回小牧市観光振興基本計画改定委員会 会議録

日 時	令和4年10月6日(木) 14時00分～15時10分	
場 所	小牧市公民館 視聴覚室	
出席者	<p>【委員】(名簿順)</p> <p>池田 洋子 学校法人同朋学園 名古屋造形大学 特任教授/史跡小牧山整備計画審議会 会長/小牧市文化財保護審議会 会長</p> <p>三輪 洋一郎 小牧商工会議所 名古屋コーチンプロジェクト/中小企業相談所 次長</p> <p>松井 真二 名鉄小牧ホテル 営業統括支配人</p> <p>八木 祐介 一般社団法人小牧市観光協会 事務局長</p> <p>鵜飼 公俊 小牧観光ボランティアガイドの会 会長</p> <p>木下 正章 名古屋鉄道株式会社 地域活性化推進本部 地域連携部 ツーリズム担当課長</p> <p>小泉 学 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コーポレートソリューション部 コミュニケーションプランニング局 局長/(ツーリズム担当)</p> <p>田中 千奈代 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コーポレートソリューション部 コミュニケーションプランニング局 /(地域振興担当)</p> <p>黒川 淳 株式会社フジドリームエアラインズ 営業本部 営業推進部 部長</p> <p>池本 美和 尾張農業農業協同組合 相談部 ふれあい課 課長</p> <p>小林 直浩 小牧市 地域活性化営業部 部長</p> <p>【事務局】</p> <p>三品 克二 小牧市 地域活性化営業部 次長</p> <p>村田 吉隆 小牧市 シティプロモーション課 課長</p> <p>長谷川 愛 小牧市 シティプロモーション課 係長</p> <p>兼松 秀伍 小牧市 シティプロモーション課 主任</p> <p>松波 克登史 ランドブレイン株式会社</p> <p>久世 晋一郎 ランドブレイン株式会社</p>	
欠席者	<p>【委員】</p> <p>松浦 秀則 一般社団法人小牧市観光協会 会長 あおい交通株式会社 代表取締役社長</p>	
傍聴者	0名	
配布資料	<p>資料1 小牧市観光振興基本計画改定委員名簿</p> <p>資料2 小牧市観光振興基本計画改定委員会設置要綱</p> <p>資料3 現計画の検証と改定方針等について</p> <p>資料4 小牧市観光振興基本計画改定スケジュール案</p> <p>資料5 小牧市観光振興基本計画</p> <p>資料6 小牧市観光振興基本計画 with コロナ版</p> <p>資料7 小牧市観光振興基本計画白書 2021</p>	

主な内容

1 開会

【事務局】

定刻となりましたので、会を始めさせていただきます。本日は、お忙しいところ、小牧市観光振興基本計画改定委員会にご出席を賜り、まことにありがとうございます。また、この度は、委員就任につきましてもご快諾を賜り、重ねてお礼申し上げます。今回新たに委員に就任された方のお手元には、委嘱状を配付させていただいております。本来でございましたら委員お一人お一人に委嘱状を交付させていただくところですが、時間の都合上、このような形にかえさせていただきましたこと、ご了承ください。なお、松浦委員におかれましては、欠席のご連絡をいただいております。この会議につきましては、公開となっておりますので、事務局で会議録を作成し、ホームページ及び本庁にあります情報公開コーナーにおいて公開させていただきますのでお願いいたします。それでは、小牧市観光振興基本計画改定委員会を開催させていただきます。なお、本日傍聴希望者はありません。初めに、改定の背景について、地域活性化営業部次長の三品よりご説明させていただきます。

【事務局】

三品です。私から、今回の小牧市観光振興基本計画改定の背景について、ご説明させていただきます。小牧市では、2013年に実施しました信長公小牧山城築城450年事業をきっかけに、初めて本市の観光の指針となる小牧市観光振興基本計画を、2016年に策定しました。この計画の計画期間は、2016年から2020年の5年間とし、観光振興に向け、推進施策を展開してまいりました。本来であれば、当該計画の改定を2020年に行うところですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、現地調査等で平常時のデータを取得することが困難となるなど実情に即した計画策定が困難だと判断し、計画の改定を中断、新型コロナウイルス感染症が収束するまで延伸することとしました。そして、新型コロナウイルス感染症に対応し、安全・安心と両立する観光を目指すための新たな観光推進施策を設定した小牧市観光振興基本計画 with コロナ版を2020年12月に策定し、現計画に付加し、各施策を展開してきたところです。現時点においても、なお、新型コロナウイルス感染症が収束したとは言い難い状況で、観光をとりまく状況は、日々変化しておりますが、計画の改定に向けて検討を進める中で、スマートフォンのGPSで補足された位置情報データを新型コロナウイルス感染症発生前後の期間で収集して分析に加えることにより、本市の観光に関する状況を明らかにすることが可能であると判断し、2年間中断しておりました計画の改定を再開することにいたしました。今後の新型コロナウイルス感染症による影響等、不明瞭な部分もありますが、委員の意見をいただきながら、2023年12月に改定した計画を公表できるよう進めていきたいと思っております。どうか皆様よろしくお願いいたします。

2 委員紹介

【事務局】

では、本日の観光振興基本計画改定委員会のスケジュールを説明いたします。お手元の次第に従いまして、委員長、副委員長の選任をしていただき、議題（1）・（2）・（3）と順にご協議いただきます。前回の改定委員から期間が経ち、また、今回新たに就任された委員もいらっしゃいますので、ここで改めてご紹介をさせていただきます。

【事務局】

学校法人同朋学園名古屋造形大学特任教授、史跡小牧山整備計画審議会会長、小牧市文化財保護審議会会長の池田洋子様。

【池田委員】

池田です。よろしく申し上げます。

【事務局】

小牧商工会議所名古屋コーチンプロジェクト、中小企業相談所次長の三輪洋一郎様。

【三輪委員】

三輪です。よろしく申し上げます。

【事務局】

名鉄小牧ホテル営業統括支配人の松井真二様。

【松井委員】

松井です。よろしく申し上げます。

【事務局】

一般社団法人小牧市観光協会事務局長の八木裕介様。

【八木委員】

八木です。よろしく申し上げます。

【事務局】

小牧観光ボランティアガイドの会会長の鵜飼公俊様。

【鵜飼委員】

鵜飼です。よろしく申し上げます。

【事務局】

名古屋鉄道株式会社地域活性化推進本部地域連携部ツーリズム担当課長の木下正章様。

【木下委員】

木下です。よろしく申し上げます。

【事務局】

株式会社 JTB コミュニケーションデザインコーポレートソリューション部コミュニケーションプランニング局局長の小泉学様。

【小泉委員】

小泉です。よろしく申し上げます。

【事務局】

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コーポレートソリューション部 コミュニケーションプランニング局の田中千奈代様。

【田中委員】

田中です。よろしく申し上げます。

【事務局】

一般社団法人小牧市観光協会会長、あおい交通株式会社代表取締役の松浦様はご欠席です。

【事務局】

株式会社フジドリームエアラインズ営業本部営業推進部部長の黒川淳様。

【黒川委員】

黒川です。よろしくお願いします。

【事務局】

尾張農業協同組合相談部ふれあい課課長の池本美和様。

【池本委員】

池本です。よろしくお願いします。

【事務局】

小牧市地域活性化営業部部長の小林直浩。

【小林委員】

小林です。よろしくお願いします。

【事務局】

続いて、事務局の紹介をさせていただきます。次長の三品、担当の係長の長谷川、今回の事業担当の兼松です。申し遅れましたが、私がシティプロモーション課課長の村田です。続いて、この度、小牧市観光振興基本計画を改定するにあたり、計画改定支援業務をランドブレイン株式会社に委託しました。委託した主な業務内容としましては、実態調査の実施及び分析、観光推進施策の提案、計画改定委員会の運営支援、計画改定案の作成になります。それでは、自己紹介をお願いします。

【ランドブレイン】

ランドブレインの松波です。よろしくお願いします。

【ランドブレイン】

同じく、久世です。よろしくお願いします。

3 委員長、副委員長の選任

【事務局】

続きまして、委員長、副委員長の選任をさせていただきます。小牧市観光振興基本計画改定委員会設置要綱第4条第1項により、「委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める」としております。お認めいただければ、事務局案をご提案させていただきます。委員長には、小牧市地域活性化営業部 小林部長、副委員長には、名古屋造形大学特任教授 池田 様をお願いしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

【会場】

異議なし

【事務局】

それでは、委員長に小林委員、副委員長に池田委員、お願いします。お二人につきましては、お席を前に移動していただきますようお願いいたします。

【会場】

席の移動

【事務局】

以降の進行につきましては、小林委員長にお願いします。

【小林委員長】

こんにちは。ご推薦により委員長になりました小林です。副委員長とともに、皆様のご協力をいただき、より良い計画に改定できるよう議論してまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

【池田副委員長】

副委員長の池田です、あまり観光業に詳しくないので、皆さんの意見を伺いたいののでよろしくお願い致します。

4 議題

(1) 現計画の検証と改定に向けての方針等について

【小林委員長】

では、議題に入ります。議題1、現計画の検証と改定に向けての方針等についてです。ランドブレイン株式会社より説明をお願いします。

【ランドブレイン】

ただいまご紹介にあずかりました、ランドブレイン株式会社の久世と申します。

では、資料の3「現計画の検証と改定方針等について」に沿ってご説明させていただきます。内容としては大きく、

1. 計画の枠組みと成果目標の確認
2. 実績の確認と検証
3. 見直しのポイント
4. 改定方針
5. 改定に向けた調査内容

の5項目です。このうち、まず改定方針までを説明した後、いったん質疑応答をさせていただきます、調査内容について説明いたします。

では、1ページをご覧ください。平成28年に策定された小牧市観光振興基本計画は、「住民の愛着と誇りの醸成と地域産業の振興への貢献を目指す」を基本理念とし、「小牧山」「名古屋コーチン」「航空宇宙産業」「総合事業」の4つをキーワードとして進められています。

全体の成果目標として「主要なイベント及び地域資源への来訪者の数（交流人口）」について、平成26年の約220万人を基準値とし、令和2年には300万人に増やすことを目標にして取り組みを行ってきました。

2ページをご覧ください。本計画は、計画当初令和2年度までの5ヵ年計画として策定し、令和3年度からは新たに計画を改定して運用していく予定でしたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大といった大きな社会状況の変化があったため、改定時期をずらし、現在の計画を補完する付加計画として、コロナ禍に対応した「小牧市観光振興基本計画 with コロナ版」を策定し、現在に至っています。

with コロナ版では、ネットメディアの活用による「遠くにいても観光が出来る非来訪型観光の実現」を施策の中心としながら、ページ右半分に示します、オンラインの活用を中心とした観光推進施策を追加しています。なおこの段階で、観光振興基本計画における成果目標は撤廃し、with コロナ版において新たな評価指標・目標値の設定はしないこととしました。

3ページをご覧ください。評価指標全体の実績について見ていきます。市全体の入込観光客数は、「小牧山城450年記念事業」のあった平成25年をピークに、年々減少しています。

計画策定後は、コロナ前まではほぼ横ばいの状況でしたが、コロナ以降は大幅に減少し、令和3年度は約65万人となっています。

各観光施設については、計画策定後、コロナ前まではほぼ横ばいで推移していますが、イベントについてはかなり変動が激しいです。これは、その年の開催日数や天候により、参加人数が増減することの影響によるものです。

では、4つのキーワード別の取り組みについて、その内容と効果について検証していきます。

4 ページをご覧ください。まずは小牧山です。小牧山については、「小牧山城史跡情報館の開設に向けた史跡ガイドの充実等」、「小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等」、「ツアーの商品開発とプロモーション等」、「小牧山城史跡情報館を軸とした観光スポットとしての必要な機能整備等」、「小牧山周辺の街並み整備等」、「広域連携によるコース造成等」、「その他」の7項目に分け、計画策定当初から施策を展開してきました。

特に、令和元年にオープンした「れきしるこまき」に合わせ、観光ボランティアガイドの養成に力を入れてきたほか、最近では来年放送予定の大河ドラマ「どうする家康」の影響による観光客の増加を見込んだ観光コースの新設や、周辺市町との協議会への参画といった取り組みも行っています。

5 ページをご覧ください。これまでの実績としては、コロナの影響等もあり、目標値には及んでいませんが、観光ボランティアガイドの年間の利用者数はコロナ前までは増加傾向にあった、れきしるこまきのオープンにより、小牧市歴史館も入館者数が増加し、小牧山さくらまつりや市民まつりとの相乗効果などが確認されています。

一方で、観光ボランティアガイドの登録者数の伸び悩み、小牧市歴史館の来館者数がコロナ前までで見ても、減少傾向にあるといった問題があります。

6 ページをご覧ください。次に名古屋コーチンについて見ます。名古屋コーチンの関連では、「市内取扱店舗の拡大等」「イベント・プロモーションの展開等」「名古屋コーチンを使ったグルメの開発等」「ひきずり鍋の伝承と普及等」といった項目を施策として設定しています。代表的な事業としては、取扱店舗の増加、名古屋コーチンを使った新しいメニューの開発、市内取扱店舗でのスタンプラリー開催、各種イベントや展示会等でのPR、ふるさと納税返礼品への活用、学校給食でのひきずり鍋などの提供といったものがあります。また近年では、コロナ禍を逆手にとってオンライン販売「みやげっと」の拡充、レシピ動画の作成、商品撮影会の開催といったことも行っています。

7 ページをご覧ください。実績についてですが、まず飲食店については、2017年度にすでに目標値を達成し、2021年度には18店舗とさらに増加しています。販売店についても、2020年度までにほぼ目標を達成しており、各種イベントでの試食・販売活動など販路拡充への取り組みにより、事業者の参入が促されたものと考えられます。また、メニューや関連商品の開発についても、2017年度までに目標値を達成し、以降はほぼ横ばいとなっています。

8 ページをご覧ください。次に、航空宇宙産業、総合事業について見ていきます。航空宇宙産業については、それほど目立った取り組みは行っていないですが、豊山町のあいち航空ミュージアムへのパンフレットや土産品の設置、教育旅行パンフレットの作成、フジドリーム

エアラインズやあいち航空ミュージアムと連携した小牧山誘客促進キャンペーンなどを行ってきました。

総合事業については、観光商品化への取り組みとして、「愛知デスティネーションキャンペーンへの参加」、「観光協会のホームページや SNS の内容充実」、「各種イベントへの参加と PR」、「愛知のお城観光推進協議会、愛知・名古屋観光誘客協議会への参画」といったことを実施しています。

9 ページをご覧ください。取組の成果としては、まず航空宇宙産業について、「新たな航空関連 2 施設の来訪者が小牧にも立ち寄った数」については、H30 年度は 3 団体、令和元年度は 2 団体で苦しい結果となっています。これには MRJ 事業の縮小が多分に影響しているものと考えられます。

総合事業については、「新たに造成された観光関連商品数」を成果指標としていますが、目標値には届かないものの、コロナ禍にあっても着実に増加傾向にあり、小牧市の観光資源の認知が進んでいるものと思われます。

以上が、計画に基づくこれまでの取り組みの振り返りとなります。全体の傾向として、名古屋コーチンについては概ね目的達成、航空宇宙産業については、MRJ 事業の縮小もあり、今後の新しい事業が期待されにくいといった状況があります。そのため、今後の計画改定において、4 つのキーワードの中ではまだ伸びが期待できる分野ということで小牧山にターゲットを再設定し、そこに現計画よりも注力をしていくといったことも想定されるところです。

では 10 ページをご覧ください。今後、本計画を改定していくうえで、計画それ自体の見直しのポイントを 3 点、整理しました。

1 つ目、「現在の指標では施策の効果が見えにくい」。現在は成果指標として、入込観光客数を設定していますが、施設ではイベントの開催状況により増減し、イベントでは開催日数や天候による影響を大きく受けるため、評価指標として用いることに問題があると認識しています。また、市の特産品に対する消費者の志向や、市民の愛着など、定量的な指標では測ることが難しい項目もあります。

2 つ目「キーワードによって十分に施策展開されているものと展開されていないものがある」。キーワードによって施策の展開がしやすいものとそうでないものがあり、当然その差が、達成状況に現れてきています。

3 つ目、「観光をとりまく環境及び状況が施策に対応していない」。観光についてのニーズは頻繁に変化するため、計画策定当時の施策のプライオリティ（重要度・優先度）が変化し、現在にそぐわなくなり、結果として社会情勢の変化に対応できていないといった状況があります。

11 ページをご覧ください。これら 3 つのポイントに対応するため、計画改定の方針として、次のような対応策を考えています。

まず社会情勢の変化への対応については、「国・県の動向の整理、実態調査の分析、関係計画との連動」を図っていくことで対応します。特に新型コロナウイルス感染症発生による観光を取り巻く環境の変化への対応や、新たな世界的目標 SDGS の採択への関連付けについては重要と考えます。

次に、本市の観光をとりまく環境に対しては、「関係主体間（県・団体・部署）との連携体制の明確化、状況変化に対応した推進施策の立案」を対応策として考えています。今後の

展開が期待される、大河ドラマの放送、建設予定のハイウェイオアシス、昨年オープンしたこども未来館などをうまく活用することが重要です。

最後に、評価指標の見直し・推進施策の設定への対応としては、「現計画の評価、入込客数以外の目標値の設定、実効性のある観光推進施策の設定」を想定しています。

【小林委員長】

ありがとうございました。只今、ランドブレイン株式会社より説明がありました内容について、ご意見がございましたらお伺いします。

(2) 実態調査の実施について

【小林委員長】

ご意見は無いようですので、次の議題に移ります。続きまして、議題2、実態調査の実施についてです。ランドブレイン株式会社より説明をお願いします。

【ランドブレイン】

では、実態調査について説明します。

資料3の12ページをご覧ください。今回の計画改定にあたっては、事前調査として、ビッグデータを活用した調査、ネット調査による来街者アンケート調査、市内観光施設の来場者を対象とした、来場者アンケート調査、LINEを利用した市民向けのアンケート調査、観光協会、商工会議所、市内宿泊事業者を対象としたヒアリング調査の5つを考えています。

1つ目のビッグデータを活用した調査では、携帯電話のGPS情報に基づく人流データを活用し、小牧市に訪れている人の動きを推計します。これにより、いつ、どんな人が、どこから、どれだけ小牧市に来ているかを推測することができ、通常のアンケート調査等からでは把握できないような、マクロ的な視点で見た観光客流動の動向がわかります。

なお、この調査については、コロナ前とコロナ後を比較するため、令和元年の4～6月、令和4年の4～6月の2つの期間でのデータを用います。

具体的な分析項目としましては、

- ・小牧市及び市内の観光スポットにどれくらいの人が来訪したか？
- ・居住地（都道府県・市町村）別に、どこから来たか？
- ・性別、年齢（20代、30代、40代、50代以上の4区分）の分布はどうなっているか。
- ・日帰りか、宿泊か、宿泊の場合、市内で泊ったか。
- ・調査対象の観光スポット（市内6か所（小牧山、メナード美術館、市民四季の森、小牧駅、県営名古屋空港、ラピオ）、市外4か所（犬山城、犬山城下町、名古屋城、岡崎城）の計10か所を登録予定）の訪問の前後でどこに立ち寄ったか。どことどこの観光スポットが抱き合わせで訪問されているか。
- ・どれくらいの時間、小牧市内および観光スポットに滞在したか。
- ・何時に小牧市内および観光スポットに入り、何時に出たか。

といったものです。

またこの調査では、犬山城、犬山城下町、名古屋城、岡崎城についても同様の調査を行うことで、近隣の有名な観光スポットとの差異や回遊性についても着目します。

2 つ目は、インターネットモニターを利用した来街者アンケート調査で、小牧市への観光での来訪の有無や、観光スポットの認知度などを調査します。調査時期としては年内を予定しています。

3 つ目は、小牧市歴史館及びれきしるこまきの来場者を対象に、訪問の目的や満足度、小牧市の観光に関する認知度などを調査します。この調査については、年間で最も観光客が多いと思われる10月末から11月初めにかけて実施する予定です。別途お配りした調査票の案のとおり、18項目の質問を予定しています。

4 つ目は、市民向けのアンケート調査で、小牧市 LINE 公式アカウントに登録している市民の方などを対象とします。こちらは市の方で実施していただきます。

5 つ目は市内の観光関連組織に対してのヒアリング調査で、日ごろの活動を通じたご意見をお聞かせいただき、現場レベルでの課題を明らかにするとともに、得られた意見をその対応策の検討に活用していきます。調査時期としては年内を予定しています。

以上で、資料3につきまして、報告並びに説明を終わります。

【小林委員長】

ありがとうございました。只今、ランドブレイン株式会社より説明がありました内容について、ご意見がございましたらお願いします。

【小林委員長】

よろしいですか。

【三輪委員】

商工会議所の三輪です。実態調査で、ビッグデータの調査は行動調査、2番目、3番目は、行動だけでなく、満足度などを把握する調査だと思います。その辺の内容について、何が不足しているのか、足りないのか、どうしたらリピートしてもらえるのか分かったら参考になります。周辺市町との広域連携として、ビッグデータでは犬山城などでの行動を把握してその可能性を探ることになっていますが、紙の調査では、広域連携の可能性の把握はどの設問から把握するのでしょうか。

【ランドブレイン】

今回の来場者アンケート調査については、大きくポイントとして3つのポイントがあります。周辺市町との連携、4つのキーワード以外の小牧市の観光資源の掘り起こし、調査施設への結果のフィードバックです。小牧市の観光面での不足を明らかにする調査になります。広域連携については、問9、今回の訪問で他の訪問先として、市内の施設、市外の周辺施設を聞いています。この調査は歴史館やれきしるこまきで実施するので、恐らく歴史に興味を持っている方が多いと想定されるので、選択肢はお城を中心に設計しています。この調査でビッグデータの補足をするイメージです。

【三輪委員】

例えば、小牧市に来てない人に聞く方法として、犬山城にきて小牧城に来ていない人に来てもらう方法とか、そのような実態、状況を知ることはできないでしょうか。

【ランドブレイン】

遠くに住んでいる方で、まったく小牧市に来たことがない方については、インターネット調査でそのような属性の人にも聞くことができます。どこまで小牧市を知っていて、何に興味を持つのかは明らかにできます。実際に来た人については、観光面で不足するものとして、

問 16 で聞いており、小牧に来た回数とか、どこから来たか、というものと関連づけて分析することで傾向を把握できると考えています。

【三輪委員】

ありがとうございます。現行計画の目標が 220 万人とのことでしたが、調査規模として、ビッグデータのサンプルは多いと思いますが、その他の調査、Web 調査のサンプル 400 で、何百万人規模の実態がわかるのか疑問です。

【ランドブレイン】

標本誤差に関するご指摘だと思います。母数が多い場合、概ね 400 サンプル程度あれば標本誤差が最大でも 5%程度に収まるので、サンプル数としては充分と考えています。ただし、属性別など細かくみていくと、誤差が大きくなる可能性があります。全体での傾向をみるだけであれば、400 サンプルでも十分であると判断しています。

【八木委員】

れきしるこまきは、ほぼ観光の方ですが、小牧駅など場所を追加することは考えているのですか。れきしるこまきで調査を行うとして、問 8 の訪問目的で、れきしるこまきには、百名城のスタンプラリーや御城印巡りの人も多いので、これは個人的にも知りたいので、よければ目的の中に御城印、百名城のスタンプラリーを入れてもらえるとありがたいです。

【ランドブレイン】

ありがとうございます。設問内容はまだ確定していないので、ご意見を参考に内容を検討します。この 2 施設で調査するので、ほとんど観光客の方と想定していますが、近隣に住んでいて、買い物や食事のついでなど、ちょっと時間があつたので寄ってみた、という方もいると思います。また、市内の宿泊施設の多くがビジネスホテルであり、宿泊する方は仕事関連が多いと思われます。出張の合間に、小牧市を楽しめるような仕掛けができないだろうか、といったことも考えており、観光以外の目的も入れています。

【黒川委員】

ビッグデータは、どの時期、どのくらいの期間の調査を計画しているのでしょうか。

【ランドブレイン】

これからではなく、過去のデータの分析を予定しています。コロナ前の令和元年の 4 月から 6 月、コロナ後の令和 4 年の 4 月から 6 月を予定しています。サンプルとしては、携帯の全キャリアで特定のアプリを入れている方が対象となります。全国で約 2,500 万人が対象となり、全人口の 1/5 程度の規模となっています。

【黒川委員】

ありがとうございます。

【小泉委員】

実態調査やアンケートだけだと、今の若い人が、どのような旅を求めているのかを把握しにくいので、何を求めているのかを深堀するような調査を可能なら進めてほしいです。

【ランドブレイン】

施設来場者調査については、調査員が対面ヒアリングで実施するので、その際に、時間が許せば、設問以外の意見も聞くことはできます。

【小泉委員】

ミレニアムやZ世代はゲームで旅したり、われわれが意識している旅とは違ってきているので、その辺のニーズも把握してもらえればと思います。

【池田副委員長】

ビッグデータの調査区分として、年齢は50歳以上で区切っていますが、実態調査では、90歳代まで細分化してきています。ビッグデータは50歳以上としているのは、スマホの保有率をみて区切っているのでしょうか。

【ランドブレイン】

そうです。

【池田副委員長】

60歳代は動きが多いので、ここのデータは欲しいと思います。

【ランドブレイン】

年齢区分については検討します。

【池田副委員長】

50歳代と60歳代では動きが違うと思うのでお願いします。アンケートは、れきしるこまきで200サンプル集めるとありますが、調査日数が4日間と限られるなか、このサンプル数が取れるのでしょうか。

【ランドブレイン】

お示した4日以外にも予備日を用意しています。

【池田副委員長】

200サンプルを集めることが前提、という理解でいいでしょうか。あと、問8で訪問目的がありますが、メナード美術館に来た方は、どの選択肢に該当するのでしょうか。

【ランドブレイン】

問8で明確に該当する選択肢はないですが、問9の選択肢にメナード美術館があるので把握できます。

【鶴飼委員】

れきしるこまきで200サンプル集まるかどうか、ということについては、集まると思います。土曜日は歴史館で300人を超える来場があります。金曜日の来場者はわかりませんが、11月はもっと来場者が増えると思います。逆に、込み合って調査しにくいかもしれません。

【小林委員長】

意見をありがとうございます。他、よろしいでしょうか。では私から。各委員からアンケート、実態調査について意見があったので、それを踏まえ、訂正したものについて、各委員に配布して確認して調査を実施していただきたいです。その辺のフォローアップをよろしくお願いします。

【田中委員】

調査を設計する際に、仮説を設定していると思うので、それをつけて、送っていただけると助かります。

【小林委員長】

その辺の対応はしていただけることでよろしいでしょうか。アンケートが重要な調査になるので、委員の意見を伺いながら進めていきたいと思いますので、アンケートも見直しながら実施していきたいのでよろしくお願いします。

(3) 小牧市観光振興基本計画改定スケジュールについて

【小林委員長】

では、議題3、小牧市観光振興基本計画改定スケジュールについてです。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

今回の委員会をはじめとして、各種実態調査結果の分析や課題の共有・方向性の検討を第2回目で令和5年3月、計画改定案の骨子検討・指標の修正を第3回目で令和5年5月、計画改定案の素案検討を第4回目の令和5年8月と第5回の令和5年9月の2回に渡って行い、令和5年10月から11月までの間にパブリックコメントを実施、パブリックコメントの結果報告を第6回目の令和5年12月に実施し、令和5年12月より改定計画の公表を予定としています。なお、次回からは、Zoomを活用したオンラインと会議室に直接来ていただいて出席が可能なハイブリッド会議形式での開催を予定しております。日程については、調整させていただいた結果、3月14日火曜日の15時から16時30分、小牧市役所6階601会議室での開催を予定しておりますので、ご承知おきください。詳細については、別途ご案内させていただきます。

【小林委員長】

ありがとうございました。今、事務局より説明がありました内容について、ご意見がございましたらお伺いします。全体を通じて何か意見はありますか。

【黒川委員】

観光振興ではバスの絡みとか出てくると思いますが、そちらの関連付けは調査ではどうなりますか。

【ランドブレイン】

小牧市への来訪は、自家用車の利用が大多数を占めると考えています。電車で来られる方については、降りてから移動する中で何か楽しめるものはないか、といったことなど、施策展開を考えていきたいと考えています。

【黒川委員】

飛行機利用についても、この計画にその辺の内容を発展して入れてもらえると助かります。

【小林委員長】

全体についてお願いがあります。若い人の観光に対する志向が変わってきているのご指摘で、それは実態調査では中々わからない部分もあるので、JTBさんで、社内の資料かもしれないませんが、観光振興基本計画に役立てたいので、そのような資料をご提案いただければと思います。若者がどのような観光の志向があるのか教えてもらえればと思います。では、進行を事務局に返します。

【事務局】

委員の皆様、お疲れさまでした。また、大変貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございました。コロナ禍ではありますが、メールやズームなどを活用していきたいと思っています。以上で、小牧市観光振興基本計画改定委員会を終了とさせていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。お気をつけてお帰りいただきますようお願いいたします。

以上